

## 東京大学医学部附属病院消化器内科にて 診療を受けられた方へ

東京大学医学部附属病院消化器内科では、下記のような診療を受ける患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 【研究課題】

慢性膵炎患における膵機能、膵形態の変化に関する前向き観察研究（2019182NI）

### 【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科・消化器内科

研究責任者 中井陽介・光学医療診療部・准教授

担当業務 データ収集・匿名化

### 【研究期間】

承認日～（5年間）2024年11月1日

### 【対象となる方】

2019年11月1日～2021年11月1日の間に当科において、慢性膵炎に対して外来および入院で診療を受けられる方。

### 【研究の意義】

慢性膵炎患者さんにおける膵石治療が膵臓の機能や形態に及ぼす影響・効果についてははっきりとはわかっていません。慢性膵炎の患者さんを対象とし、治療中の経過を観察する事でそれらをはっきりとする事が出来れば、慢性膵炎診療の進歩が期待され、患者さんにとっても利益があると考えています。

### 【研究の目的】

慢性膵炎患者さんにおける膵石の治療が膵臓の機能や形態に及ぼす効果について明らかにする事を目的としています。

### 【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。通常診療内でカルテに記録された血液検査や画像検査結果などを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

### 【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのな

いよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの血液検査や画像検査結果等は、解析する前に氏名・生年月日等・病院 ID 等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において中井陽介が個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコン、で厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。で厳重に保管します。

この研究のためにご自分（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで 2022 年 3 月 1 日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

この研究に関する費用は、東京大学大学院消化器内科分野胆膵グループの奨学寄附金から支出されています。

ご意見、ご質問等がございましたら、お気軽に下記までお寄せください。

2019 年 11 月

**【問い合わせ先】**

東京大学医学部附属病院光学医療診療部 准教授 中井陽介

住所：東京都文京区本郷 7-3-1

電話：03-3815-5411（内線 30680） FAX：03-5800-9801

Eメールでのお問い合わせ：ynakai-ky@umin.ac.jp